



栄養学科では、食と健康の専門家を養成するために、生命科学に関連する様々な授業や実験を行っています。本学科の授業や実験を通して、栄養学の学問の重要性や学ぶことの意義や楽しさを知っていただくために、高校生を対象に学科教員による授業開放を開催します。

**開催日**：2019年8月24日（土）10:00～16:00 ※受付は9:30より

**場 所**：岡山県立大学 学部共通棟北，学部共通棟南

総社市窪木111（JR桃太郎線（吉備線）・服部駅より徒歩5分，無料駐車場有）

**受講料**：無料 2019年7月10日（水）～31日（水）の事前申し込みが必要です。

※ただし、締切日前であっても定員に達し次第、募集を締め切りますので、お早めにお申し込みください。

時間	申込番号	授業名	定員
10:00-10:10	開会／オリエンテーション（場所：学部共通棟北8201講義室）		
10:10-11:40 (授業)	1A	高校生のための栄養学入門 （場所：学部共通棟北8201講義室） （講師：山下広美教授） ご飯やパンのようなデンプンを多く含む食物を食べると消化吸収された後体内でどのように代謝されるのか、糖質の代謝を中心に概説し、栄養と代謝の関わりについて理解するきっかけをつくる。（※出前講義対応可）	先着100名
	1B	高校生のための公衆栄養学入門 （場所：学部共通棟北8202講義室） （講師：久保田恵教授） 個人や集団の健康状態や栄養状態に影響を与える要因についての解説を通して、人々の健康づくりや疾病の予防における公衆栄養学の重要性を理解するきっかけをつくる。 （※出前講義対応可）	先着100名

時間	申込番号	授業名	定員
13:00-16:00 (実験)	2A	高校生のための遺伝子工学実験 （場所：学部共通棟南8109講義室） （講師：田中晃一教授、岩岡裕二助教） 遺伝子工学技術の発展により微生物を「タンパク質工場」として利用して様々な有用タンパク質を生産することが可能となった。本実験では実際に大腸菌に蛍光タンパク質を作らせ、そのタンパク質の観察や解析をおこなう。	先着40名
	2B	高校生のための臨床調理 （場所：学部共通棟南8107講義室） （講師：平松智子准教授、丸田ひとみ助教） 病態時の食事療法における食塩摂取制限の意義と目的を理解し減塩の工夫を考案し、調理する。	先着40名

○お申し込み方法

本学のホームページ（<https://www.oka-pu.ac.jp/>）をご覧ください。

○お問い合わせ先

岡山県立大学 事務局教学課 TEL：0866-94-9161（直通） FAX：0866-94-2196